

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和元年第2回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. **10**
令和元年8月

特 集

漁 業 者

in あおもり

目 次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16

写真：船上にて。今回取材した工藤満さん（漁業者・写真右）と御両親

特

集

漁業者

in あおもり

今回の特集記事のテーマは「漁業者」。青森市は陸奥湾に囲まれた穏やかな内海でのホタテの養殖が盛んに行われているほか、近年は市水産振興センターにおいてナマコ種苗を生産、放流を続けてきたことが功を奏し、ナマコの生産量も増加してきています。今回は、若い漁業者にスポットを当てるべく、25歳で脱サラし、東京から後潟にある実家のホタテ漁業を継いだ工藤満さんに、漁業を始めたきっかけや漁業の魅力など、さまざまなお話を伺ってきましたので、その内容をお届けします。

【議員】 きょうは貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。

ではまず自己紹介と、漁師を始めたきっかけを教えてください。

【工藤さん】 工藤満です。ことしで40歳になります。25歳のときに漁師を始めたので、漁師歴は15年、今はホタテ一本で頑張っています。漁師になる前は東京でサラリーマンをしていたのですが、環境になかなかなじめなかつたり、仕事が長時間だったりと、体を壊してしまいました。そんなときに姉から、

「じゃあ漁師をやってみたら？」と言われたのがきっかけでした。

【議員】 ということは、脱サラして漁師になったわけですね。工藤さんは何代目になるのですか。

【工藤さん】 おじいちゃんの親の代からなので、私で4代目です。

【議員】 都会で働いていたところから漁師に転職して、最初はどんな感じでしたか。

【工藤さん】 最初は体がきつかったです。でも、自分の肌合っていたのか、気持ち的には楽でしたので、がむしゃらにやっているうちに体もなれてきて、続けられるなと思うようになりました。

【議員】 自然が相手というのは厳しいですけども、ある意味、自分のペースでできるのはいいですよね。それでは、どんなときにこの仕事のやりがいを感じますか。

【工藤さん】 やっぱ頑張ったら頑



工藤さん宅でのインタビューの様子。
左が工藤さん、右が取材した議会広報広聴特別委員会委員。

張っただけ結果に結びついたときですね。あと私たちは家族みんなが、その感じが何だかおもしろいというか。若いときって親と余り話さないじゃないですか。でも、今は腹を割っているんな話をするようになりました。そして思うのは父親のことです。すごいなって

【議員】なるほど。お父さんは父親であると同時に師匠でもありますからね。逆に、悩みだとか課題はありますか。

【工藤さん】今、一緒に仕事をしている親戚のおじさん、おばさんがそろそろ引退という話になっていて、世代も変わっていく中で、仕事のやり方についてもこの先ずっと同じでいいのか考えることがあります。ただ、父親が築いてきた仕事のバランスもあるので、それを崩さずに、より進化させられない

いかということも考えますね。

【議員】世代交代の話が出ました。今お子さんは3人とのことですが、後継者のことは考えていますか。

【工藤さん】私の父親は、自分には漁業を継がせようとしなかったんです。自分の好きなようにって。そうやって育てられてきたので、子どもたちにも自分のやりたいことを自由にやらせてあげたいです。漁師って、好きじゃないと続かない仕事です。でも、うちの子、船もホタテも魚も好きなんです。そういうところはやっぱりうれしななって思います。

【議員】親としてはそれが素直な気持ちですよ。最後に、市民に対して伝えたいことはありませんか。

【工藤さん】やっぱり「漁師は楽しいよ！」って伝えたいです。漁業は汚い、大変だ、朝が早いとかマイナスなイメージもありますけれ

ども、自分で考えたアイデアは何でもそのまま使えますし、頑張れば頑張っただけ返ってきます。それがとても楽しいです。

【議員】工藤さんの思いが本当に伝わってきました。本日はありがとうございました。



工藤さんの船はおじいさんが名づけた「浦島丸」です。

青森市議会

議決した主な議案です。

令和元年第2回定例会

会期28日間 6月7日～7月4日

第2回定例会で可決等した

議案・請願等

- 市長提出議案17件中……………17件
(可決15件、同意2件)
- 議員提出議案7件中……………4件
(可決)
- 諮問11件中……………11件
(棄却すべきと答申)
- 請願2件中……………0件
(採択)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでごらんいただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

令和元年度6月補正予算を

可決しました

今期定例会では、予算に関する議案として一般会計補正予算案及び介護保険事業特別会計補正予算案の2件が提案されました。

この補正予算案は、国の法改正により、消費税率の引き上げによる増収分を活用し、低所得者の介護保険料を軽減する改定を行うもので、これに伴う公費負担分の歳出(1億8千327万4千円)と、その財源としての国・県負担金(国2分の1、県4分の1)の歳入について補正を行うものです。

市議会では、両案について全会一致で原案のとおり可決しました。なお、補正後の令和元年度青森市一般会計の予算額は、次のとおりです。

- 令和元年度青森市一般会計
- 補正予算額 1億8千327万4千円
- 補正後の予算額 1千285億3千225万7千円

その2

財産の取得に係る議案を

可決しました

今期定例会では、議会の議決が必要な予定価格2千万円以上、5千平方メートル以上の不動産(土地)の買入れとして、青森市土地開発公社が保有する青森操車場跡地の用地の購入に係る議案が提案されました。

同用地は、市が進めている青森操車場跡地周辺整備推進事業に活用されることとなります。

市議会では本議案について全会一致で可決しましたが、取得する財産の概要は、次のとおりです。

- 取得する財産の概要
- 所在 青森市大字浦町字奥野26番47外20筆
- 地積 8万3千506・75平方メートル
- 取得価格 38億3千92万2千762円



その3

青森市議会議員定数が

改正されます

●青森市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では、平成30年第2回定例会、同第3回定例会に続き、議員提出議案として、現在の議員定数35人を次の市議会議員一般選挙の告示の日から32人に改正する条例案が提案されました。

議場では、「改選後、定数削減への議員各位の一定の理解が得られた」との提案理由の説明に対し、「議員定数を考える上では多様な市民の意見が適切に反映されるかが重要であり、昨年10月の否決の結果を受けとめる必要がある」との反対討論及び「定数32人は中核市との比較等においても妥当であり、議会みずから率先して身を切る改革に取り組む必要がある」との賛成討論が行われました。

市議会ではこの議案について、起立採決の結果、賛成多数（賛成26、反対8）で可決しました。

その4

西中学校改築に関する請願を不採択としました

今期定例会では、「青森市立西中学校改築に関する請願」（その1及びその2）の2件について審査しました。

同請願は、障がいのある子どもも校舎を自由に移動できるような今後の同校の改築の際にあわせてエレベーターの設置等を求めるもので、市議会では前期定例会において、エレベーターを設置する場合の費用の積算が執行機関から示されなく賛否が判断できないため、継続審査となっていたものです。

今期定例会では執行機関側の対応として、エレベーターではなく可搬式階段昇降機を導入する方向性が示され、市議会では同請願について、起立採決の結果、起立少数で不採択としました。



可搬式階段昇降機

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第2回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第2回定例会

一般質問 24名

予算特別委員会 19名

※本会議での一般質問等の様子は、下のQRコードからアクセスできる議会中継でごらんいただけます。



◆各議員の質問・質疑は6ページから15ページにかけて掲載しています。



防 災

情報のページへの掲載など、積極的な周知に努めてまいります。



Q 災害の多い我が国において観光の危機管理は重要と考えますが、外国人旅行者への防災情報の提供に係る市の対応をお示しください。

A 市では、外国人旅行者に対し、多言語に対応したスマートフォン向け総合防災アプリ「防災情報『全国避難所ガイド』」を活用し、気象警報の通知や最寄りの避難場所の位置等の防災情報の提供を行っています。より旅行者の目にとまりやすいよう、チラシ等の媒体はもとより市ホームページの観光



外国人旅行者への
防災情報の提供について

公明党
渡部 伸広

職 員

A 市では、職員の公用車による事故を防止するため、運転に従事する職員の運転免許証や健康状態について定期または随時の確認を行っているほか、全職員に対しても年4回、安全運転に向けて注意喚起を行っているところです。今後とも、安全運転についての声かけや、運転者の健康状態の確認、運転中のヒヤリ・ハット事例の職員間での共有等を通じ、さらなる交通事故防止に取り組んでまいります。

Q 市では、公用車による交通事故を防止するため、どのような対策を行っているかお示しください。



公用車の交通事故
防止対策について

自民・志政会
里村 誠悦

庁 舎

A 柳川庁舎の今後の活用方法については、令和2年1月の新市庁舎供用開始後においても、今後も増加していく行政文書の保管庫等として活用することとしています。また、現在柳川庁舎1階では、弘前大学が地域戦略研究所・食料科学研究部門として各種調査、研究事業を行っています。同大学においても、柳川庁舎の今後の利用計画について検討していると承知しているところ

Q 新市庁舎の供用開始後において、市は柳川庁舎をどのように活用するのかお示しください。



柳川庁舎の活用方法
について

市民クラブ
秋村 光男

総務



眺望山入り口前にて

A 本件については、昨年7月開催のあおもりタウンミーティングでも同様の御意見をいただいております。今般改めて各携帯電話事業者に対し、地域の強い要望があることを市として働きかけ、今後のエリア拡充のための要望として受け付けていただけたところです。

Q 眺望山自然休養林は、県民の森として多くの市民に利用されていますが、事故や緊急時に携帯電話が使用できるよう、市として通話エリアの拡充を各携帯電話事業者に働きかけるべきと思いますが、市の考えをお示しくください。



携帯電話通話エリアの
拡充について

自民・志政会 神山 昌則
かみやま まさのり

広報広聴

A 市では既に教育相談でLINEのアカウントを利用しているため、さらなる登録は有料となること、また、八戸市、弘前市では登録者をふやすことなどに課題があると同っています。市ではその有効性については理解していることから、これら課題の解消や用途等について今後研究してまいります。

Q 紙のメディアを見ない若い層などへも市が提供する情報が届くよう、県内では八戸市、弘前市が既に入っているLINEによる広報を本市でも行つてはどうかと考えますが、市の見解をお示しくください。



LINEを活用した
市の広報について

無所属 山崎 翔一
やまざき しょういち

まちづくり

A 同協議会では、自治区終了後も浪岡地区の市民生活を維持する観点で議論を進めており、1つに、「青森市浪岡」の住所表記については残すこと、2つに、浪岡庁舎に配置されている組織・機能は継続すること、3つに、現在の協議会にかわる組織を設置することなどの方向性について、本年7月末までに取りまとめ、意見書として市長へ提出することとしています。

Q 浪岡自治区地域協議会では、令和2年度で終了する浪岡地域自治区について、どのような議論が行われているか内容をお示しくください。



浪岡地域自治区について

日本共産党 天内 慎也
あまみや しのぶ

選挙



郵便による選挙の
投票について

日本共産党
万徳 まんとく
なお子

Q 体が不自由で投票所に行くことのできない方等が在宅で行える郵便による投票については、参政権を保障する重要な制度と思いますが、当該制度の概要をお示しく下さい。

A 公職選挙法においては、両下肢、体幹、移動機能の障がいのある身体障害者手帳2級以上の方、心臓、腎臓等の障がいのある同手帳3級以上の方、介護保険の要介護5の方等は当該制度により投票できると定められており、市選挙管理委員会から選挙人であることの証明書の交付を受け投票用紙を請求し、郵送で投票できるものです。

地域
コミュニティ



地域コミュニティ活性化
事業補助金について

日本共産党
山脇 やまわき
智 さち

Q 市が町会等へ交付している当該補助金について、今年度から町会の盆踊りなどで参加賞として長年子どもたちに配られてきたお菓子等に係る経費が補助対象外となりました。現金や金券はともかく、子どもたちへのお菓子等の経費まで見直すのはやり過ぎであり、多くの町会等から疑問の声が出ていますが、市の見解をお示しく下さい。

A 町会事業に参加する方に対しお菓子等を配ることは、いわば税金で配ることにのみならず、公益上の必要性や適正性の確保の観点から見直す必要があったものです。

経済

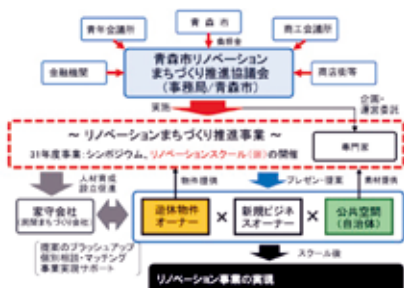


リノベーションまちづくり
推進事業について

市民クラブ
工藤 くどう
健 けん

Q 市が今年度から取り組むリノベーションまちづくり推進事業の概要をお示しく下さい。

A 本事業は、空きビルや空き店舗などの遊休不動産を活用しながら新たな商業者の育成と遊休不動産の再生を行うもので、この取り組みを通じ若者などに新たなビジネスに挑戦、実践する場を提供し、新たなビジネスの創出やエリアの魅力と価値の向上を目指すものです。具体的には、まちづくりの意識醸成を図るセミナーや、創業希望者等を対象とした合宿形式のワークショップの開催を予定しています。



緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

観 光

秋まつり実行委員会において協議、検討していきたいと考えています。



青森春まつり期間中の野木和公園

A

市では、祭り期間中のシャトルバスの運行について、まずは油川観光協会や地元の方々からお話を聞いた上で、祭りを主催する青森春

Q

野木和公園の最寄りの市営バス停留所である野木和公園入口は、公園までの距離が50メートルもあります。このため、青森春まつりの期間中については、高齢者の方も公園を利用しやすいよう、最寄りの市民センターからシャトルバスを運行してはどうかと思います。が、市の考えをお示しくください。



野木和公園の春まつりに
ついて

自民・志政会 館山 善也
たてやま じゅんや

アリーナ プロジェクト

点も踏まえて検討してまいります。

A

市では、本市のスポーツ振興には優秀な指導者の育成・確保やその活用に向けた取り組みが重要であることから、本年3月に設立したスポーツコミッション青森において指導者が活躍できる仕組みづくり等について検討することとしており、優秀な指導者からのアドバ

Q

市が現在進めているアリーナプロジェクトについて、管理運営にスポーツ指導者を活用すべきと思いますが、考えをお示しくください。



アリーナへのスポーツ
指導者の活用について

自民・志政会 渋谷 勲
しばた しげあき

教 育

ことなどに留意したところです。

A

市教育委員会では、学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校の運営に取り組むコミュニティ・スクールを、本年度から4中学校区19校で開始しましたが、その導入に当たっては、保護者や地域住民等に対し取り組みの必要性や成果を広く周知すること、地域全体で共通認識を持つこと、学校と地域が信頼関係を構築すること、学校の内部情報等に守秘義務を課すことなどに留意したところです。

Q

コミュニティ・スクールの導入に当たり、市教育委員会が留意した点についてお示しくください。



コミュニティ・スクールの
導入について

自民・志政会 丸野 達夫
まるの たつお

教育



市民の声あおもり
奥谷 進

奨学金の無利子貸付制度 の内容及び実績について

Q 市教育委員会が行っている奨学金の貸付制度を広く市民に周知すべきと思いますが、当該制度の内容及び実績についてお示しください。

A 当該制度は、経済的な理由により就学困難な学生の負担の軽減と次代を担う人材の育成を目的に、高等学校等では月額1万6千円、大学等では月額3万3千円を無利子で貸与するもので、新規貸与の実績は、平成28年度が12名、平成29年度が9名、平成30年度が15名となっております。今後も「広報あおもり」等を通じ、当該制度の周知を図ってまいります。

教育



日本共産党
村川 みどり

新入学児童学用品 支給事業について

Q 新入学児童学用品支給事業は開始から10年が経過しましたが、開始当初と現在の1人当たりの支給額及び支給品目の比較についてお示しください。

A 本事業は、子どもたちの社会参加の第一歩を記念するとともに、小学校入学時の保護者の負担軽減を目的に算数セットや色鉛筆等を支給しているもので、1人当たりの支給額は開始当初の平成21年度が1万134円、今年度が5千588円と、差額は4千54円となっております。支給品目は、開始当初が22品目、今年度が7品目となっております。

教育



市民の声あおもり
中村 美津緒

子ども110番の家について

Q 全国的に子どもの登下校時の事件、事故が相次ぐ中、子ども110番の家の活用促進等に係る学校の取り組みについて見直す必要があると思いますが、市教育委員会の取り組みをお示しください。

A 本市における子ども110番の家は、平成31年1月時点で45の小学校区で1千54軒となっており、各学校において登下校時に危険を感じた場合に避難するよう指導しているほか、市教育委員会が設置場所を記載した地域安全マップを作成し、学校・保護者・地域住民が共有の上、防犯教育に活用しています。



店舗前に張られた「子ども110番連絡所」のステッカー

文化



小学校における文化部活動のクラブ化について

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 小学校における文化部活動のクラブ化について、市教育委員会の考えをお示しく下さい。

A 市教育委員会では、少子化が進む中、子どもや保護者のニーズに応じた部活動環境を整備するため、小学校の部活動を保護者や地域等が主体となり運営するクラブへ移行する方針としており、現在23校で行われている合唱部等の文化部活動のクラブ化に当たっては、各学校が保護者や地域とよりよい指導体制のあり方、支援方法等について、十分に話し合いながら進めていくことが重要と考えています。

都市整備



新駅整備に向けたアンケート調査について

市民クラブ 木下 靖

Q 青森操車場跡地への新駅整備に向け、市が本年5月に行ったアンケート調査の対象範囲と、必要とするサンプル数をお示しく下さい。

A 当該アンケート調査は、市民の新駅の利用意向等について把握するため、操車場跡地近隣の約2万7000世帯、それ以外の地区の約11万5千600世帯の中からそれぞれ無作為に抽出した1千300世帯と、操車場跡地近隣の72事業所・約4千800人、青森中央高校等近隣4校の全生徒約2千500人を対象に行ったもので、必要なサンプル数としては、それぞれ390票ほどを想定しています。



新駅設置が待たれる青森操車場跡地

市営住宅



市営住宅の入居要件について

無所属 橋本 尚美

Q 市営住宅について、別居し離婚に向けて調停中であり、青森市配偶者暴力支援センター等が発行する証明書があれば、他市のように入居対象とすべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A 市では、DVにより離婚をしようとしている方については、DVがあったことを客観的に判断できないことから市営住宅への入居資格を有しない取り扱いとしているところですが、事実上婚姻関係が解消されている場合もあることから、その対応について、他都市の状況等を調査したいと考えています。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

市営住宅

A 青森市市営住宅管理条例においては、現在、通常は2人、特別な事情があると認める者は1人の連帯保証人を求めているところですが、この取り扱いについては、民法改正のほか、県や他都市の動向を踏まえながら検討してまいります。

Q 市営住宅入居の際の保証人についてはなり手がいない人もおり、令和2年4月の民法改正では保証金の上限や期限を保証人に示すやり方になることが想定されるため、この改正に合わせ、保証人の取り扱いをやめるべきと思いますが、市の考えをお示しくください。



市営住宅入居の際の
保証人について

公明党 赤木 長義

除排雪

A 青森地区における流・融雪溝については、現在7地区で整備が完了しています。8地区目となる佃地区についても、今年度側溝・送水管の整備を予定しているほか、9地区目となる篠田地区についても、整備に向けた測量業務を予定しているところですが、市では、雪のまち青森市にとって最も重要な事業である流・融雪溝の整備に、今後も全力を傾けてまいります。



冬期間多くの市民が利用する流・融雪溝(桜川地区)

Q 青森市雪対策基本計画では、流・融雪溝の整備可能な地域は青森地区で15地区とされていますが、現在の整備状況をお示しくください。



青森地区における流・融雪溝の整備状況について

自由民主党 中田 靖人

道路

A 当該道路は、狭いところでは幅員が5・5メートルしかなく、実際に同校関係者と危険箇所の確認のため現場を歩いた際も、歩道がないため車が通った際に側溝側に移動が必要となる箇所などもあったことから、安全対策としてどのような方法がよいか、学校、警察、町会等の関係者と協議の上、探っていきたいと考えています。



市が関係者と行った現場確認時の様子

Q 矢田前地区の県立盲学校までの市道について、生徒が安全に登下校できるよう点字ブロックを設置してほしいと思いますが、整備に係る今後の見通しをお示しくください。



通学路への点字ブロックの設置について

日本共産党 藤原 浩平

道路

道路交通の確保に努めてまいります。



冬期間は特に道幅が狭くなるS字カーブ

津軽新城駅から県営住宅平和台団地に向かう市道平和台1号線のS字カーブの間隔は、特に冬場は雪により車両同士のスレ違いが困難であるため拡幅すべきと思います。が、市の考えをお示しくください。



市道平和台1号線の

拡幅について

自民・志政会 木戸 喜美男

交通

市交通部では、平成27年4月から運転免許返納者に対し、現在販売していないバスカードの在庫を活用し5千円相当のバスカードを提供しており、配付実績は平成28年度が409件、平成29年度が451件、平成30年度が441件となっていますが、今後については、これまでの配付実績を踏まえると、今年度内に終了する見込みとなっています。

市交通部が実施している運転免許自主返納者支援事業における、過去3年間のバスカードの配付実績と、いつごろまで配付できるのかお示しくください。



運転免許自主返納者支援事業について

市民の声あもり 藤田 誠

福祉

本市の民生委員・児童委員数は定数590名に対し557名で、充足率は94・4%、1人当たりの平成30年度年間活動日数は平均144日となっています。なり手不足の解消に向けた取り組みとしては、候補者の年齢基準の78歳未満への引き上げ、市ホームページ等を活用した委員の活動や、チラシによる委員募集に係る周知啓発等を行っています。

高齢化等を背景に、なり手不足が懸念される民生委員・児童委員の本市における充足率、年間活動日数及びなり手不足解消に向けた取り組みについてお示しくください。



民生委員・児童委員のなり手不足の解消について

自由民主党 大矢 保

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



40歳以上のひきこもりの 方の支援について

市民の声あおもり

蛸名

和子

Q 国は、40歳から64歳までのひきこもり状態の方が全国で推計61万3千人と発表しました。このような方の支援及び家族の居場所づくりに係る市の考えをお示しくください。

A 市では、青森市子ども・若者支援地域協議会の実務者会議におけるひきこもりの方等への支援方法に係る情報交換や、定期的な相談会、ひきこもり家族会との意見交換等を行っており、今後もひきこもりの方の年齢にかかわらず支援に努めていくほか、家族の居場所づくりについても、実務者会議において協議したいと考えています。

福祉



待機児童の解消策 について

市民の声あおもり

奈良岡

隆

Q 保育所は4月に枠が埋まってしまふと簡単にはあかないため、育休から復帰し年度途中から子どもを預けたいのに預け先が見つからない保護者も多いと思います。愛媛県松山市では待機児童対策の一環として入園予約制度を設けており、大変有効な手段だと考えますが、市の見解をお示しくください。

A 本市では例年9月から10月にかけて待機児童が発生している状況にあるため、当該制度について他市の事例を調査するとともに、保育所等の意見も聞き、待機児童の解消に向け取り組んでまいります。

福祉



幼児教育・保育の 無償化について

公明党

山本

武朝

Q 教育機会の均等を進め、子どもたちの未来を開くため、政府は本年10月から幼児教育・保育の無償化を開始しますが、その概要と本市での対象者数をお示しくください。

A この無償化は、3歳から5歳までの全ての子ども及びゼロ歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、幼稚園、保育所等に加え、認可外保育施設等の費用を無償化するもので、その対象者数は、本年4月1日時点の見込みでは3歳から5歳までが5千663人、ゼロ歳から2歳までが344人の、計6千7人となっています。

福祉

A 病児一時保育負担金のコンビニ納付については、財務会計システム
の改修や手数料が必要となること
など、徴収コストの増大が見込ま
れること、さらには平成30年度の
利用者は79人で、費用対効果が
見込まれないことから、実施す
ることは考えておりません。

Q 病児一時保育所を利用した際の負
担金については、銀行か市役所の
窓口でしか支払うことができず、
大変不便だとの声が市民から寄せ
られています。コンビニなどでも
支払えるようにすべきと思います
が、市の考えをお示してください。



病児一時保育負担金の
支払い方法について

日本共産党 赤平 勇人
あかひら ゆうと

保健医療

A 市では、依存症に関する相談があ
った際、まずは精神保健福祉士が
相談者から丁寧にお話を伺うと
もに、御自宅への訪問・御本人へ
の面接等により状況を把握し、必
要な支援・助言、医療機関への受
診勧奨を行っているほか、依存症
のグループ支援を行っている県立
精神保健福祉センターへつないで
いくなどの支援を行っています。

Q 依存症とは、お酒や薬物、ギャン
ブルなどに心を奪われ、やめたく
ても自分の意志ではやめられない
進行性の病気ですが、市に相談が
あった際の対応をお示してください。



依存症に関する相談への
市の対応について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま みよと

保健医療

A 市でもこの機器を導入している自
治体については承知しており、導
入した自治体の検査の実施状況や
導入効果等、さまざまな観点から
研究してい
きたいと考
えています。



スポットビジョン
スクリーナーの外観

Q 弱視の子どもは50人に1人と言わ
れていますが、3歳児検診で発見
できれば、小学校入学までに治療
可能と言われています。昨今、ス
ポットビジョンスクリーナーとい
う機器を導入して検診時の弱視発
見率を上げている自治体もふえて
きているため、本市も3歳児検診
にこの機器を導入すべきと思いま
すが、考えをお示してください。



子どもの視力について

公明党 軽米 智雅子
かろまい ちかこ

議員とカダる会を開催しました

令和元年5月20日（月）に議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）を、市内2会場（東部市民センター、西部市民センター）で開催しました。今回は計42名の皆様に御参加いただき、平成31年第1回定例会に関する議会からの報告と、ワールドカフェ形式による意見交換会をさせていただきました。いただいた多くの貴重な御意見につきましては、市議会として今後の活動に大いに生かしてまいります。また、市議会では引き続き、市民の皆様との対話の場の設置に努めてまいります。



西部市民センター会場の様子。多くの方の御参加、まことにありがとうございました。

お答えします

カダる会当日、会場でお答えできなかった御質問について、抜粋してお答えいたします。掲載できなかった御質問は、市議会ホームページに掲載しております。

Q 新城地区道路について、私道、側溝の補修を個人や町会で行うのは限界がある。全体的に市の対応があれば。

A 私道につきましては、要件に合致する場合は、寄附を受け付けております。また、私道の整備を行う場合には「私道等整備事業補助金制度」を設けており、市としては、これらの制度等により対応しているところであります。

青森市議会基本条例の研修を開催しました



当日は27名の議員が参加しました。

青森市議会基本条例第21条には、本条例の理念の浸透を図るための研修を改選後に行うことが定められており、市議会では令和元年5月10日（金）に、この規定に基づく研修を実施いたしました。当日は、青森中央学院大学の佐藤淳准教授を講師としてお招きし、「議会改革 善政競争！！」をテーマに御講演をいただきました。

今後とも市議会では、本条例の理念に基づき、市民に開かれた議会の実現を目指し、鋭意改革に努めてまいります。

全国市議会議長会の表彰が行われました

今期定例会では、本会議6日目（6月21日）に、長年市政の発展に尽くされた次の方に表彰状の伝達が行われました。

特別表彰

【議員在職25年】

大矢 保



議場での表彰状伝達の様子

傍聴者の声から

令和元年第2回定例会の傍聴者数は**68人**でした。傍聴された方から寄せられた御意見等を抜粋して御紹介します。

- 議員の態度の悪さ。出たり入ったり、話したり、真面目な議員の邪魔です。傍聴者から見てもやるせなく悔しいです。
- 議会を傍聴するのは初めてでしたが、これを機に市政に関心が深まり、今後は選挙でもしっかりと私たちの代表を選びたいという気持ちになりました。もっと多くの人に関心を持つとよいのではないかと思います。

編集後記

副委員長 山脇 智

紙面をリニューアルし、節目のVol.10となりました。「ポストからそのままごみ箱に捨てていた妻が目を通すようになった」「以前は存在も知らなかったが、今は特集記事が楽しみ」など、好評の声が寄せられ、うれしい限りです。わかりやすくという姿勢は崩さず、よりよい紙面を提供できるよう頑張ります。

令和元年第3回定例会は8月29日開会の予定です。